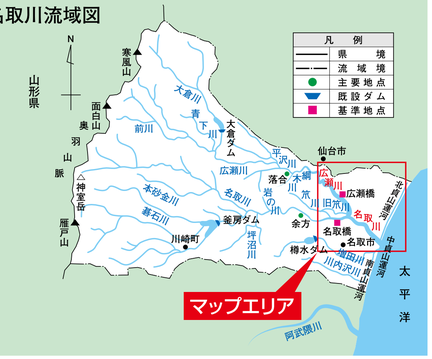
名取川・広瀬川の概要

名取川水系は、宮城県のほぼ中央に位置している一級河川で、その水源を宮城、山形県境付近の神室岳（標高1,353m）に発し、奥羽山脈から流れる碁石川、広瀬川等と合流し、名取市閖上で太平洋に注いでいます。

名取川の流域は、仙台市、名取市、川崎町にまたがり、宮城県の社会、経済、文化の基盤をなし、流域面積は939km²、幹川流路総延長は55.0kmで、人口100万人（平成11）を有する仙台市域を流下する都市河川です。

また、支流の広瀬川は、山形県境の近く、風倉沢と坂下沢との合流点に端を発し、仙台市街を流れ、下流部で名取川と合流する流域面積311km²、長さ45.2kmの一級河川です。「名水百選」（環境庁1985年）や「残したい日本の音風景100選」（環境庁1996年）にも選ばれた、仙台のシンボルとして欠かせない存在です。

名取川流域図



広瀬川（広瀬橋付近）

名取川（名取川橋付近）

広瀬川（大橋付近）

名取川（太白大橋付近）

名取川（名取大橋付近）

凡　例

- 自動車が通行できる堤防道路
- 歩行者・自転車のみ通行のできる堤防道路・遊歩道
- 河川連絡通路
- 階段等降り口
- スロープ状降り口（坂　路）
- ゲート（通行規制用）
- 国　道
- 県道・市道
- 有料道路
- 在来線
- 新幹線
- 河川敷　水遊びのできる岩場
- 竹　林
- 葦　原
- グラウンド等
- 田畑等
- 崖
- コンビニエンスストア
- トイレ
- ビューポイント